

古事記と萬葉集

平成23年8月21日(日)～平成23年8月23日(火)

◎第1部

一般参加の方、事前申込不要・研究者の方、事前申込要

「公開講演会とシンポジウム」「古事記と萬葉集」(無料)

平成23年8月21日(日)10時30分～17時(於奈良県立万葉文化館)

「公開講演会」

「声のことば、文字のことば」

「古事記本文中の仮名と万葉集訓字主体表記歌巻の仮名」

「古事記・日本書紀の冒頭」

「古事記の訓み―方法と立場―」

「シンポジウム」

パネリスト

- | | |
|-----------|------|
| 奈良女子大学教授 | 奥村悦三 |
| 関西大学教授 | 乾善彦 |
| 佛教大学教授 | 榎本福寿 |
| 京都大学大学院教授 | 内田賢徳 |
| 奈良女子大学教授 | 奥村悦三 |
| 関西大学教授 | 乾善彦 |
| 佛教大学教授 | 榎本福寿 |
| 京都大学大学院教授 | 内田賢徳 |
| 奈良女子大学教授 | 館野和己 |
| 奈良女子大学准教授 | 奥村和美 |

※館内展示の観覧には、別途入館料が必要です

(講演会参加証或いは参加者名札の提示により割引いたします)

◎第2部

研究者に限る(事前申込要)

「臨地研究プレ講義」「古事記・萬葉集の故地」(無料)

平成23年8月22日(月)10時30分～12時(於奈良女子大学 N202)

「若手研究発表会」萬葉語学文学研究会との共催(無料)

平成23年8月22日(月)13時30分～17時30分(於奈良女子大学 N202)

『古事記』における倭建命の位置づけ―須佐之男命との比較―

「万葉集巻六の配列について」

「古事記「廻」字考」

「臨地研究」「古事記・萬葉集の故地」(別途バス代要)

平成23年8月23日(火)9時50分～16時

太安万侶墓・光仁天皇陵く都祁の氷室く石上神宮く行燈山古墳(崇神天皇陵)く多坐弥志理都比古神社(多神社)く売太神社

臨地説明

奈良女子大学教授

出田

和久

- | | |
|------------|------|
| 奈良女子大学教授 | 館野和己 |
| 奈良女子大学教授 | 出田和久 |
| 大阪府立大学大学院生 | 岡田高志 |
| 大谷大学助教 | 根来麻子 |
| 奈良女子大学教務補佐 | 阪口由佳 |

申込先：奈良女子大学古代学学術研究センター若手研究者支援事業担当

〒630-8263 奈良市北魚屋西町 奈良女子大学文学部

日本アジア言語文化学コース内 TEL.0742(20)3279 nichia@cc.nara-wu.ac.jp

2011年度「若手研究者支援プログラム」のお知らせ

2011年第7回「若手研究者支援プログラム」を、8月21日より23日までの3日間にわたり奈良県立万葉文化館万葉古代学研究所との共催で開催いたします。古事記撰進より1300年の節目を迎えるにあたり、「古事記と萬葉集」というテーマで上代日本の言語と文学のありようを再検討しようという企画です。

主に言語文学分野の若手研究者を対象としていますが、21日の公開講演会・シンポジウムにつきましては一般の方々の御参加も歓迎しております。22日は、萬葉語学文学研究会との共催で、若手研究者の研究発表会を開催いたします。萬葉語学文学研究会の会員外の研究者にもこの機会に多数御参加いただきたく存じます。

なお、大学および研究機関等で御指導に当たられている先生方におかれましては、ぜひ大学院生・研究生諸氏にお知らせいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

奈良女子大学古代学学術研究センター

若手研究者支援事業担当 奥村 和美

記

若手研究者支援プログラム 古事記と萬葉集

第1部

公開講演会とシンポジウム「古事記と萬葉集」(無料※)

8月21日(日) 10時30分～17時00分 (於 奈良県立万葉文化館 受付10時～)

「声のことは、文字のことは」	奈良女子大学教授	奥村悦三
「古事記本文中の仮名と萬葉集訓字主体表記歌卷の仮名」	関西大学教授	乾 善彦
「古事記・日本書紀の冒頭」	佛教大学教授	榎本福寿
「古事記の訓みー方法と立場ー」	京都大学大学院教授	内田賢徳
シンポジウムコメンテーター	奈良女子大学教授	舘野和己
コーディネイター	奈良女子大学准教授	奥村和美

※館内展示の観覧には、別途入館料が必要です

(講演会参加証或いは参加者名札の提示により割引いたします)

第2部

臨地研究プレ講義「古事記・萬葉集の故地」(無料)

8月22日(月) 10時30分～12時00分 (於 奈良女子大学 N202)

奈良女子大学教授 出田和久

奈良女子大学教授 舘野和己

* 23日の臨地研究参加の方を対象としていますが、それ以外の方も参加できます。

若手研究発表会 萬葉語学文学研究会との共催（無料）

8月22日（月）13時30分～17時30分（於 奈良女子大学 N202）

『古事記』における倭建命の位置づけ―須佐之男命との比較―

大阪市立大学大学院前期博士課程 岡田 高志

「万葉集巻六の配列について」 大谷大学助教 根来 麻子

「古事記「廻」字考」 奈良女子大学教務補佐員 阪口 由佳

*終了後、懇親会。専任教職員等 4,500 円 学生 3,000 円

臨地研究「古事記・萬葉集の故地」（別途バス代要※）

8月23日（火）9時50分～16時

太安万侶墓・光仁天皇陵～都祁の氷室～石上神宮～行燈山古墳（崇神天皇陵）～
多坐弥志理都比古神社（多神社）～売太神社

臨地説明 奈良女子大学教授 出田和久

※昼食代込みで、学生 3,500 円、専任教職員等 4,000 円程度を予定していますが、参加人数によって費用に若干の変動があることを御了承ください。

申込方法

〈8月21日（日）のみの一般参加の場合〉 申込み手続き不要

〈8月21日（日）・8月22日（月）・8月23日（火）に研究者として参加の場合〉

☆大学院生以上の研究者に限らせていただきます。

以下のフォーマットを御使用の上、下記宛先までメール・ファクシミリ・郵送のいずれかで、8月11日（木）までにお申込みください。

申込宛先 〒630-8263 奈良市北魚屋西町

奈良女子大学文学部日本アジア文化学コース内

奈良女子大学古代学学術研究センター若手研究者支援事業担当

電話・FAX 0742-20-3279

nichia@cc.nara-wu.ac.jp

☆ 宿泊施設の御案内（学生のみ・男女不問）☆

本プログラム参加の学生の方で、希望者には、8月20日（土）、21日（日）、22日（月）の宿泊に、本学NWU奈良会館がご利用いただけます。

料金は、シングルルーム1泊（食事無し）で2,500円です。

参加申し込みの際に、NWU奈良会館宿泊希望と明記の上、宿泊希望日をお書き添えください。4名様までで、先着順とさせていただきます。手続きの都合上、8月3日（水）までにお申し込みください。

手続き及び宿泊費の支払い方法については、申し込み受付後、連絡させていただきます。

なお、NWU奈良会館については、本学ホームページを開き右上のサイトマップをクリックし、国際交流・留学情報の「NWU奈良会館」を開くと、詳細をご覧いただけます。

※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※

2011年第7回「若手研究者支援プログラム」参加申込書

氏名(ふりがな)

所属大学／機関名

所属学部／部署名

学年／役職

郵便番号

住所

電話・FAX番号

メールアドレス

参加日程(○印をつけてください) 21日()
22日() 22日懇親会()
23日()

※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※

以上